



世界遺産への登録をめざす

武家の古都・鎌倉ニュース

Vol.24

夏号/Summer 2012

第24号平成24年(2012年)7月発行
発行：鎌倉世界遺産登録推進協議会
編集：広報部会 編集人：内海恒雄

平成24年度総会を開催

「みんなでつくる世界遺産のまち鎌倉」を活動方針に

4月27日(金)、鎌倉商工会議所ホールにおいて、鎌倉世界遺産登録推進協議会(以下「推進協議会」)の平成24年度総会を開催しました。

冒頭に、副会長に新しく宮崎緑さん(千葉商科大学政策情報学部部長)、兵藤芳朗さん(公益財団法人鎌倉風致保存会理事長)の就任が報告されました。

松尾崇(鎌倉市長)推進協議会会長から抱負



総会第1部より。
松尾会長から挨拶

総会開会に際し、松尾会長から挨拶があり、「みんなでつくる世界遺産のまち鎌倉」を新たにキャッチフレーズとして定め、市民行政一体となって鎌倉の世界遺産登録と文化遺産の保全をめざしていく方針を話しました。平成24年1月に日本国政府からユネスコへ正式に推薦書が提出され、今年夏から秋ごろに、世界遺産登録の可否に大きく影響を与えるイコモス(国際記念物遺跡会議)の現地調査が行われます。松尾会長は「世界遺産登録へ向けいよいよ大詰めの段階を迎え、市民と協働して登録への機運を盛り上げていくことが重要。そのために、全市的なまちづくりに繋がっていくキャンペーンの展開を図っていききたい」と述べました。また「世界遺産に登録された後を見据えた活動を行っていくべき」と、継続的な鎌倉の遺産の保全を強調しました。

平成23年度事業報告

出席役員の紹介の後、議事は松尾会長によって進められ、内海恒雄広報部会長が映像を交えて平成23年度事業について報告しました。日本文学研究者のドナルド・キーンさんをお招きした「鎌倉を語る」シンポジウムをはじめ、コンクール・講座など主催・共催したイベントは19を数え、市内外から多くの方々が参加されました。また、グッズ等を活用した広報活動についても報告がありました。続いて事務局より決算報告、深山照世監事より平成23年度の監査報告があり、いずれも承認されました。

平成24年度事業計画

奴田不二夫登録推進事業部会長が平成24年度の事業計画について説明しました。今年度はイコモスの視察が予定されていることを踏まえ、より充実した活動を展開していく方針であることを話しました。事業計画の説明に加え、鎌倉の走るランドマークとして人気の江ノ電「世界遺産号」運行などについても報告がありました。続いて、事務局より平成24年度の収支予算について説明があり、承認されました。

「武家の古都・鎌倉」について講演

次に、神奈川県教育委員会文化遺産課の榊淵規彰さんから世界文化遺産に推薦された「武家の古都・鎌倉」の概要について講演がありました。「これらの歴史的な資産を未来に残すためには、市民との連携・協力が不可欠。今年の現地調査に向けて、より一層協働体制を強めたい」と市民と一体となった登録推進の必要性をアピールしました。

今後のスケジュール

▶ユネスコのスケジュール

①平成24年夏～秋

ユネスコの諮問機関であるイコモスから調査官が鎌倉を訪れ、現地調査を行います。

②平成25年7月頃

調査結果を踏まえ、世界遺産委員会が登録の可否を審査します。

▶鎌倉市の取り組み

●鎌倉市後期実施計画(平成24年度～27年度)で、世界遺産登録が市の主要事業に位置づけられました。世界遺産ガイダンス施設の早期設置に取り組むなど力を入れています。

世界遺産ガイダンス施設とは…世界遺産の登録資産に関する情報を広く提供するとともに、埋蔵文化財の展示機能も備える計画です。